

文化でつながる。未来とつながる。

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

文化
オリンピックアード



「TURNフェス 5」開催及び取材のご案内 ～Pathways 身のゆくみち～

令和元年 7月 3日

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京



TURN



「TURN フェス 4」(2018 年)の様子

今年の TURN フェスのテーマは、「Pathways 身のゆくみち」。

「みち」という言葉で何が思い浮かびますか？近道、分かれ道、散歩道、寄り道、帰り道…

TURN フェスでは、ひとりひとりが思う異なる行き方/生き方を、人や表現との出会いを通して見つけていきます。時には振り返り、時には遠回り。誘いに身を任せながら、生まれていく出会いと経験を通して、新しいモノの見方と知覚を発見していきます。

TURN の参加アーティスト、福祉施設やコミュニティのほか、今回のために呼びかけた多彩な人たちが集結し、展示、ワークショップ、パフォーマンス、トークイベント、ガイドツアーが繰り広げられる4日間。様々なプログラムへの参加を通して、それぞれの「みち」を体感してみませんか？

開催概要

- ・タイトル：TURN フェス 5
- ・会 期：令和元（2019）年 8月 16日（金）～18日（日）、20日（火）
- ・開室時間：16日（金）9：30～21：00、17日（土）・18日（日）・20日（火）9：30～17：30
（入室は閉室の30分前まで）
- ・会 場：東京都美術館（東京都台東区上野公園 8-36）ロビー階 第1・第2 公募展示室
- ・入 場 料：無料 ※手話通訳・文字支援等のアクセシビリティサービスあり
- ・主 催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京・東京都美術館、
特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学
- ・公式 URL：<https://turn-project.com>

TURN フェス 5 のプログラム

展示&ワークショップ

- 岩田とも子 「意識の散歩」 手に入れたくしゃくしゃの地図の上
- 齋藤陽道 気配を捉えた写真
- 「未来言語」 新しいコミュニケーションを考える
- 「OTON GLASS/FabBiotope」 多様性を実現するものづくり
- 牧原依里と「東京ろう映画祭実行委員会」 ろう学生がつくる映画と表現
- 伊勢克也 交流する「桃三ふれあいの家」
- 飯塚貴士 みんなの喜怒哀楽に触れる映像制作
- 「アトリエ・エー」 ダウン症や自閉症の子供たちを中心とした絵の教室
- 池田晶紀 「働く」を写す《人+動/仕+事》
- 富塚絵美 「Boatt Room-盲ろう文化でぼーっとボアッと光を抱く部屋-」
- 出張 TURN LAND
(板橋区立小茂根福祉園、クラフト工房 La Mano、気まぐれ八百屋だんだん、ハーモニー)
- 森山開次が踊り、富田了平が撮影した交流の記録映像
- 東大生態調和農学機構の圃場で生まれた「ひまわり迷路」
- キューバの高齢者施設と小学校との交流「TURN in HAVANA」
- アルゼンチンの先住民とコミュニティとの交流「TURN in TUCUMAN, BIENALSUR」



TURN in HAVANA



TURN LAND (クラフト工房 La Mano)

ライブ&パフォーマンス

初日(8/16)の夜は、オープニングナイト! 誰の中にもある差別の心を問うパンクバンド「ラブ・エロ・ピース」、ヒューマンビートボックスU:gene、ラップクリエイターのマチーデフラが舞台を盛り上げます。その他、会期中に繰り広げられる音や身体表現などの多彩なパフォーマンスを通して、展示空間に新しい空気を吹きこみます。

トーク&レクチャー

TURN が関わる領域やテーマは多岐にわたります。課題となるキーワードを拾い上げ、理解を深めていくことで、これからの社会やプロジェクトに必要な眼差しを獲得していきます。今回のトークプログラムは、日本の障害者福祉における表現を研究する長津結一郎、TURN のプロジェクトデザイナーであるライラ・カセムらが構成。アートプロジェクト、表現と排除の関係性、アクセシビリティ、きょうだい児、介護や医療福祉の現場、場のつくり方など様々なトピックを語り合います。

シアター&プレイルーム

- ろう者の“音楽”をテーマにしたアート・ドキュメンタリー『LISTEN リッスン』
- 自主夜間中学校と生き抜くための学びを映し出す『こんばんはII』
- 指で触れあうことで世界とつながる『もうろうをいきる』
- 国籍も言語も異なる盲目の蝋燭職人とろう者の舞踏家によるロードムービー『TOTA』

ツアー&コミュニケーション

会場やプログラムについて「教わる」に留まらず、多彩なナビゲーターの視点や経験を共有していくことで、それぞれの楽しみ方を自ら「発見」していきます。

その他、多数のアーティストの参加と複数のプログラムの開催を予定しています。

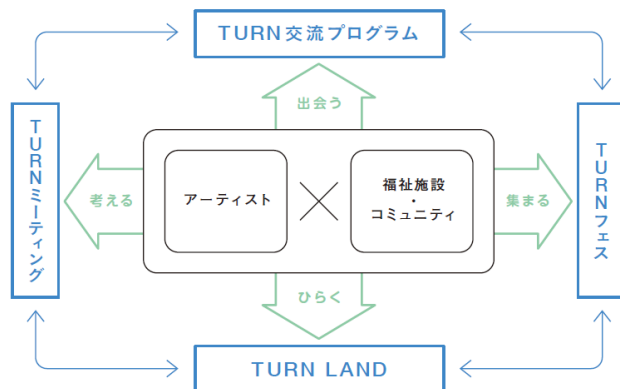
※各プログラムのスケジュール等詳細は公式ウェブサイト、Facebook で随時お知らせします。

※出演者やプログラム内容等は、予告なく変更になる場合がございます。

【TURNとは】

TURNは、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が2020年に向けて、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の一環として展開しており、特定非営利活動法人Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学と実施しています。また東京2020公認文化オリンピックでもあります。

TURNは、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトの総称です。アーティストが、福祉施設や社会的支援を必要とする人のコミュニティへ赴き、出会いと共働活動を重ねる「TURN交流プログラム」と、TURNの活動が日常的に実践される場を地域につくり出す「TURN LAND」を基本に据え、「TURNミーティング」と「TURNフェス」の開催によって広くその意義を発信します。



■TURNを創り出す4つのプログラム

TURN 交流プログラム

アーティストと、福祉施設や社会的支援を必要とする人々が時間を重ねて交流し、共働活動するプログラム。また、社会や日常で意識化されていない課題への気づきを目的としたアーティストによるリサーチも行います。

TURN LAND

福祉施設や団体が、アーティストとともに参加型のプログラムを企画します。場所のもつ従来の機能に、市民が集まることができる地域にひらかれた文化施設としての役割が加わり、TURNを日常的に実践する場をつくり出します。

TURN フェス

TURN交流プログラムやTURN LANDを実施する多様なアーティストや交流先の活動が一堂に会するフェスティバル。作品展示やワークショップ、トークイベント、オリジナルプログラム等を通して、TURNを体感します。

TURN ミーティング

TURNの可能性を共有し、語り、考えあう場。参加アーティストや交流先などの関係者とともに、各分野で活躍するスペシャルゲストを招き、様々な視点からTURNを考察します。



- ・監修：日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
- ・プロジェクトディレクター：森 司（アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長）

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組んでいます。また、2020年に向けて、文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開しています。 <https://www.artscouncil-tokyo.jp>



＜本リリースに関するお問い合わせ＞

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：糸園、圓城寺
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp

＜TURN フェス 5 当日の連絡先＞TURN 運営本部

TEL：080-9081-0171（8月16日9：30～21：00、8月17日・18日・20日9：30～17：30）
※会場へのお問合せはご遠慮願います。